

## 京都スタジアムの建設推進に関する要望書について

関西自然保護機構会長 石井 実

このたび、保津町自治会長様から関西自然保護機構宛「京都スタジアム（仮称）の建設推進に関する要望書」（平成25年2月16日付）をいただいたところです。本機構としてはあらためてこれまでの地元の皆様方によるアユモドキ保全のための活動に敬意を表します。本件につきまして私どもは今年3月12日に「亀岡市保津町上中島における専用競技場の建設に関しアユモドキをはじめとする淡水生物群集の保全への配慮の要請」と題した文書を亀岡市長並びに京都府知事宛提出しております。

[http://www.omnh.net/konc/2013/03/post\\_24.html](http://www.omnh.net/konc/2013/03/post_24.html)

要請内容は

1. 生活域、産卵場所、水の流入や流出を含め、アユモドキの生息場所への影響を最大限回避した形でのスポーツ施設の用地計画における再検討・再検証
2. 関係省庁との十分な連携・調整
3. 専門家委員会の設置

の3項目でした。

1につきましては、本機構のスタンスに変更はありません。地域個体群としてのアユモドキが保全される解決策が見出されるよう、論議が尽くされることを祈っております。

2につきましては、地元亀岡市や京都府をはじめ文化庁、環境省を含めた関係省庁による連携・調整を重ねて要請するものです。

3につきましては、専門家委員会が設置されていることを高く評価し、委員会がその任務にふさわしく役割・機能を発揮することを期待しております。